

令和7年度 安曇野市福祉有償運送運営協議会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名 | 第2回(令和7年度第1回)安曇野市福祉有償運送運営協議会 |
| 2 | 日 時 | 令和8年2月6日 午前 10時から11時まで |
| 3 | 会 場 | 安曇野市役所 共用会議室 305 |
| 4 | 出 席 者 | 安曇野市社会福祉協議会: 鎌崎委員、安曇野市身体障害者福祉協会: 丸山委員、安曇観光タクシー株式会社: 耳塚委員、南安タクシー有限会社: 小岩井委員、あづみの第一交通株式会社: 林委員(代理)、株式会社アイ: 佐々木委員、高齢者介護課長: 中澤委員(会長) |
| 5 | 担当課出席者 | 高齢者介護課 内川長寿福祉係長、山田主事 |
| 6 | 会議概要作成年月日 | 令和8年2月9日 |

報 告 事 項 等

【会議概要】

- 1 開 会 (事務局)
- 2 会長あいさつ
- 3 報告及び協議事項
 - (1) 安曇野市社会福祉協議会
 - ・定期報告(会員及び運行管理の現況、保険の更新、苦情処理状況等)
 - ・協議申請(運送対価変更)
 - (2) JAあづみくらしの助け合いネットワークあんしん
 - ・定期報告(会員及び運行管理の現況、保険の更新、苦情処理状況等)
- 4 そ の 他
- 5 閉 会 (事務局)

【3 報告及び協議事項】

- (1) 安曇野市社会福祉協議会
 - ・定期報告(会員及び運行管理の状況、保険の更新、苦情処理状況等)
- (社協) 会員、運転者ともに1名減。苦情はなし。令和6年度が利用件数50件。令和7年度12月現在で、利用件数29件。12月同期比で、11件減となった。課題としてはSTS(福祉有償運送)を担っているヘルパーの人員不足と高齢化により、本来の訪問業務にも影響が出ているうえ、訪問日とSTSの予約が重なった場合、STSの依頼を断るケースが発生している。この課題に対して、職員の人員不足が深刻な状況にあり、本来の訪問業務も困難な中、STSの事業を継続していけるのかが疑問。現在の利用者への対応は検討すべき事項であるが、この先事業の縮小、また最悪撤退することも考えていかなければいけない状況になっている。
- ・協議申請(運送対価変更協議申請)
 - (社協) 最低賃金の上昇や燃料費の高騰を踏まえ、利用料金の見直しをした。料金の根拠については国の定めによりタクシー料金の8割までとされているが利用者の所得等を考慮し、タクシー料金の約半額になるように設定をした。また、この変更について県交通政策課に確認済。

【主な質疑・意見】

(委員) 具体的に事業を縮小する時期は決まっているのか。

(社協) 具体的には決めていない。

現在登録されている会員さんの利用がなくなるまでは続けていきたい。

(委員) ライドシェアを今後取り入れることを検討するのはどうか。

(社協) 持ち帰って検討させていただきます。

(社協) 人員不足や事故のリスクの懸念から、有償運送への新規参入は難しく、現会員での継続後は廃業し民間へ委ねる可能性が高い。地域主体の移動支援の動きもあるが課題が多く、社協は可能な範囲で支援を検討している。

(委員) 少ない会員のために車両や運転者を維持し続けることは、負担が大きく、本来の役割から外れているのではないかと感じている。市の制度などを活用し負担を軽減する方法もあるのではないか。また、有償運送は制度上の制約もあり、運営上の難しさがあるため、民間の活用を進めて早期終了も一案ではないか。事業がなくなるのは寂しいが時代の流れでもあると感じており、再検討をお願いしたい。

(2) J Aあづみくらしの助け合いネットワークあんしん

・ 定期報告（会員及び運行管理の現況、保険の更新、苦情処理状況等）

(あんしん) 苦情はなし。現在会員数は0となっており、事業は休業状態である。運転者は2人、車の登録台数は3台となっている。課題としては休業状態であることとドライバー2名が両者とも後期高齢者となり、安全面に不安がある。また、新たな人材の確保ができていない。今後の動きとしては更新をする予定であるが、新規利用者の確保ができない場合、廃業も視野に入れている。

【主な質疑】

(委員) ドライバーの確保について何か対策等がありますか。

(あんしん) 現在は具体的な対策はない。会員制のため、その仕組みを変えていくことも考えていきたい。

【4 その他】

・ 今後の協議会の開催方法について

(事務局) 更新登録等、協議会の開催方法について、国からの通知を元に重大な事故や変更がない場合、書面による協議方式とさせていただきたいと考えているがよいか。

【主な質疑】

(委員) 賛成。有意義な会議であると思うが民間企業も参加しており、参加が難しい場合もあるためよいと思われる。

【その他意見】

(委員) 重度の障がい利用者への対応について市に相談をしたが返答がなくタクシー券の配布だけでは不十分と感じる。事故や責任問題の不安もあるため、介護タクシーなどより踏み込んだ支援を検討してほしい。

(委員) (上記意見に補足) 介護タクシーの基本料金は通常のタクシーと同じだが介助料が各社で異なり、「高い」というイメージがあり利用が進んでいない。市で料金情報を整理・周知していただければ利用しやすくなるのではないか。

(事務局) 担当部局等に確認させていただき、対応していきたい。